

入善町飯野公民館

◆事業の目的

- (1) 地域内の自然を探検し、自然の中の生き物とふれあい、自然に恵まれたわがふるさとに感謝し、誇りを持ち、郷土や自然を愛する心を育む。
- (2) 黒部川に溯上する鮭の一生を学び、体験を通し、命の大切さを体感、探究心や感謝の心を育む。

◆事業の流れ

実施日	活 動 名	場 所	参加人数
7月11日(月)	ふるさとの川の様子や川の生き物を知る	庄助川、黒部川、魚のやすらぎ水路	50名
10月29日(土)	バードウォッチングを楽しむ	黒部川河口、吉田川他	15名
11月17日(木)	黒部川に溯上する鮭の一生を知る1	黒部川鮭築場、内水面漁協	49名
12月13日(火)	黒部川に溯上する鮭の一生を知る2	内水面漁協、飯野小学校	47名
3月6日(火)	黒部川に溯上する鮭の一生を知る3	黒部川	

◆事業の様子

☆ ふるさとの川の様子や川の生き物を知る

子どもたちは、川に入り、川の中の生き物をつかんだり、観察したり、いろいろな植物に触れたり、流れている水の説明を聞いたり、思いっきり自然と触れ合っていた。特に美しい自然のシンボルとしてしられ、絶滅の危機に瀕している湧水に住むトミヨをつかまえて観察したり、湧水に生えるカワヂシャを観察したりし、感動していた。



☆ バードウォッチングを楽しむ

黒部川、吉田川などで、双眼鏡やフィールドスコープを使って親子で野鳥の観察を行った。黒部川では、ダイサギ、アオサギ、コサギなどたくさんの野鳥を見ることができた。吉田川では、カルガモ、コガモなどの水鳥が泳いでいる姿を見ることができ、子どもたちも大喜びだった。



☆ 黒部川に溯上する鮭の一生を知る

◇鮭の溯上見学、鮭の一生についての学習、採卵・受精の見学

黒部川の築場で溯上した鮭を実際にみながら鮭の一生について学んだ。その後黒部川内水面漁協で、採卵や受精の様子を見学、一匹のメスが約5,000個の卵を産むこと、卵を産んだら死んでしまうこと、鮭が集団で暮らしていることなど、たくさんの発見があったようだ。

◇鮭の受精卵を代表者が内水面漁協にもらいに行き小学校の水槽に放つ。

代表者が内水面漁協で受精卵を受け取り、学校の水槽に放ったが、子どもたちからは思わず歓声があがっていた。

◇鮭の稚魚放流



◆事業の成果と課題

子どもたちの感想文の中に「飯野の自然がいっぱい知れてうれしかった」とあったように、常日ごろ体験できない自然とのふれあいや発見がたくさんあり、自然に対する興味・関心が出てきたようだ。当初の目的も少しは達したようだが、家族や学校と連携をとり、継続ができるよう配慮が必要だ。